

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報(A)

昭60-169683

⑫ Int. Cl.⁴

F 03 B 13/14

識別記号

庁内整理番号

7911-3H

⑬ 公開 昭和60年(1985)9月3日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑭ 発明の名称 海水発電

⑮ 特 願 昭59-23826

⑯ 出 願 昭59(1984)2月10日

⑰ 発 明 者 川 人

克 昌

徳島市安宅2丁目5-15 安宅ビル内3-2

⑱ 出 願 人 川 人

克 昌

徳島市安宅2丁目5-15 安宅ビル内3-2

明細書の序言(内容に変更なし)

明 細 書

1. 発明の名称

海水発電

2. 特許請求の範囲

海水発電所の主タンク1内に水車5と発電機2を内蔵し、取水口13と放水路6を設け、プロペラ水車5の適用落差5m以上にならう海中18に詰め海水の落差によって発電を行う。この主タンク1内に放水された海水は補助タンク3にはり浮力の原理(アルキメデスの原理)を応用した往復ポンプ4によって海中に戻される。往復ポンプ4は波の到来と共にフロート(浮き、重り)7が上、下してシリンダー9内のピストン10を上下させ往復運動となり海水を排水口8より放出する。補助タンク3はポンプが多数つけられるような構造とし波の高低をやわらげるよう波の進行方向は第3図のよう海中に沈める。主タンクも補助タンクもいづれも閉閉鎖として取水口はいつでも必要な時に開閉出来る構造とする。

台風時とか悪天候時のために陸地に貯水池を設けて余った電力で貯水する。貯水池は出来るだけ山腹に設け1辺を山腹として5m以上の貯水をして予備用の発電設備を留めるものとする。

3. 発明の詳細な説明

発明の目的は豊富な海水の資源を利用して合わせて波の運動によるエネルギーをアルキメデスの原理を応用して往復ポンプを動かして我が国をとりまく環境を有効に利用して多大な再生エネルギーを得るものとする。その効果は公害がなく、自然破壊がなく資源の乏しかった我が国を資源の豊富な国とし、これから原子力時代、宇宙時代に備えての水素原子、重水原子をつくり出す再生エネルギーを確保する海水発電が飛躍台となり、海に、宇宙に限りない夢を与えてくれる。

この発電方式の特徴は海水が無限に近い量存在する中、いま一つには往復ポンプが無限に働かされる事である。

4. 図面の簡単な説明

第1図：海水発電所の平面図 第2図：補助タンクの断面図
第3図：補助タンクの側面図 第4図：主タンクの断面図

1. 主タンク 2. 発電機 3. 補助タンク 4. 往復ポンプ
5. 水車 6. 放水路 7. フロート 8. 排水口 9. シリンダー
10. ピストン 11. 放水路水位 12. 海面水位
13. 取水口 14. 波の進行方向 15. 海中

特許出願人 川人 克昌

手続補正書 (方式)

昭和59年6月2日

特許庁長官

殿

1. 事件の表示 昭和59年 願第23826号

2. 発明の名称 海水発電

3. 補正をする者

事件との関係

特許出願人

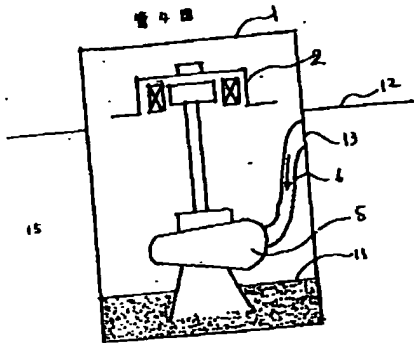
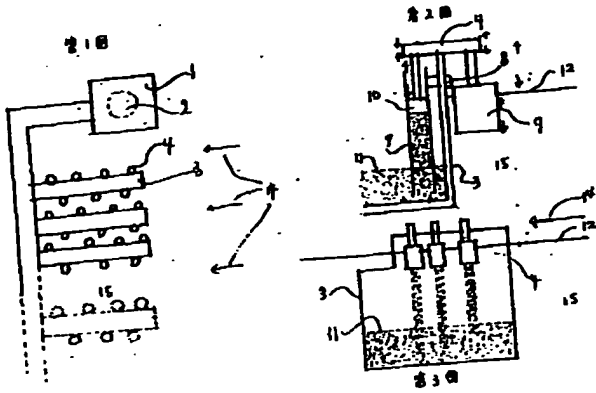
住 所 東京都徳島市安宅2丁目5-15 安宅ビル内3-2

氏 名 加々 寛喜

4. 補正命令の日付 昭和59年5月29日

5. 補正の対象 願書及び明細書

6. 補正の内容 願書及び明細書の浄書 (内容に変化なし)



PAT-NO: JP360169683A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 60169683 A

TITLE: SEAWATER ELECTRIC-POWER GENERATION

PUBN-DATE: September 3, 1985

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

KAWAHITO, KATSUMASA

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

KAWAHITO KATSUMASA

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP59023826

APPL-DATE: February 10, 1984

INT-CL (IPC): F03B013/14

US-CL-CURRENT: 290/54

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain a large quantity of electric energy by driving a reciprocating pump by the energy of the movement of waves by utilizing the abundant resources of seawater and the Archimedes' principle and effectively

utilizing the environment surrounding our country.

CONSTITUTION: A seawater power station is equipped with a waterwheel 5 and an electric generator 2 built inside a main tank 1, and a water suction port 13 and a drainage canal 6 are provided, and the main tank is submerged into the sea 15 so that the applied water-head of the propeller waterwheel 5 of at least 5m can be obtained, and thus electric power generation is performed by the water-head of the seawater. In this case, the seawater drained into the main tank 1 is introduced into a plurality of auxiliary tanks 3, and then returned into the sea 15 by a reciprocating pump 4 in utilization of the principle of buoyancy (the Archimedes' principle). The float 7 of said reciprocating pump 4 moves up and down waves wash, and a piston 10 in a cylinder 9 moved vertically to form reciprocating movement, and the seawater is discharged from a drainage port 8. Thus, the reciprocating pump 4 is driven by the energy of the movement of the wave by utilizing the abundant resources of seawater and the Archimedes' principle, and a large quantity of electric energy can be obtained.

COPYRIGHT: (C)1985,JPO&Japio